解　説

第 ７ 章　　　建設・住宅

住宅の状況

総住宅数は493万戸、空き家率は14.2%

令和5年住宅・土地統計調査によると、総住宅数は492万8,600戸で、前回調査(平成30年)に比べ24万8,400戸(5.3%)増加しました。このうち、居住世帯のある住宅(普段人が居住している住宅)は419万7,000戸で、総住宅数の85.2%を占め、空き家などの居住世帯のない住宅(普段人が居住していない住宅)は73万1,600戸で、総住宅数の14.8%となりました。

居住世帯のない住宅のうち「空き家」は70万1,900戸であり、総住宅数に占める空き家の割合（空き家率）は14.2%で、前回調査の15.2％から1ポイント減少しました。

 総住宅数、空き家数・空き家率

[第7章16表より]

住宅の建て方

　6割弱が共同住宅

令和5年住宅・土地統計調査によると、一戸建は167万1,500戸で、居住世帯のある住宅全体の39.8%、共同住宅は240万8,200戸で同57.4%です。

前回調査(平成30年)に比べ、一戸建は6万4,100戸(4.0%)、共同住宅は22万1,900戸(10.1%)、それぞれ増加し、長屋建は3万6,000戸(24.1%)減少しました。

 居住世帯のある住宅の建て方別割合



[第7章12表より]

新設住宅着工

6万9,264戸で『持ち家系』が5割弱

住宅着工統計によると、令和5年に着工した新設住宅戸数は6万9,264戸で、前年に比べ350戸(0.5%)減少しました。このうち、持ち家(自己の居住用に建築)と分譲住宅(事業者が販売目的に建築)を合わせた戸数は3万3,730戸(構成比48.7%)で前年に比べ50戸(0.1%)減少、貸家･給与住宅は3万5,534戸(構成比51.3%)で前年に比べ300戸(0.8%)減少しました。

新設住宅の総床面積は463万7,522㎡で、前年に比べ6,425㎡(0.1%)増加しました。



 新設住宅着工戸数、総床面積

[第7章7表より]

産業用建築物着工

卸売業，小売業用が51棟(14.0％)増加

建築着工統計調査によると、令和5年に着工した産業用建築物棟数は3,000棟で、前年に比べ29棟(1.0%)増加しました。産業別では、卸売業，小売業用が415棟(構成比13.8%)と最も多く、次いで医療，福祉用が384棟(同12.8%)、製造業用が371棟(同12.4%)です。

 産業用建築物(着工)の棟数及び床面積

[第7章5表より]